

第 26 回環境化学討論会のお知らせ

主 催 一般社団法人日本環境化学会
会 期 2017 年 6 月 7 日 (水) ～6 月 9 日 (金)
会 場 静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」
〒422-8005 静岡市駿河区池田 79-4
アクセス情報 <http://www.granship.or.jp/>

連絡先 第 26 回環境化学討論会事務局
〒422-8526 静岡市駿河区谷田 52-1
静岡県立大学食品栄養科学部 水質・土壌環境研究室
E-mail : env26@u-shizuoka-ken.ac.jp

テ ー マ 健康長寿社会を支える環境化学の未来 ―静岡からの発信―

発表形式 口頭発表及びポスターセッションで行います。口頭発表は原則として、PC プロジェクターを使用します。口頭発表ファイルは、会期中に会場にて USB メモリーで受け付けます。国際セッションで講演する研究者は、日本語ではなく英語の要旨を提出してください。

内 容 大気、水質、土壌、生物、廃棄物、食品、生活用品などの分野で、動態、分析、反応、物性、毒性、衛生、処理、情報、観測などの観点から、化学物質による汚染や環境計測・保全・改善等に関する研究発表を対象とします。

発表時間 口頭発表は 1 演題あたり 15 分を予定 (講演 11 分 討議 4 分 交代時間を含む)
国際セッションは 1 演題あたり 15～20 分 (演題数に合わせて調整し、今後決定します。)
ポスター発表はコアタイム 90 分を予定

申込方法 参加申込及び講演申込は、インターネットでお願いします。参加登録、演題登録システムを利用いたします (2017 年 3 月 1 日オープン予定)。本年度は、講演申込と要旨提出が同時となりますのでご注意ください。学会ホームページ (<http://www.j-ec.or.jp/index.shtml>) の「第 26 回環境化学討論会」(<http://www.j-ec.or.jp/conference/26th/index.html>) 内に記載される申込方法に従い参加登録から先に手続きしてください。講演申込者も参加申込、参加費が必要です。郵送・FAX による申込は行っておりません。討論会事務局からの連絡はメールで行います。

申込期限

1) 講演申込/講演要旨原稿/講演概要提出 (今回は全て同日締切りです)	2017 年 3 月 1 日～4 月 3 日 (月)
2) 事前参加申込	2017 年 3 月 1 日～4 月 21 日 (金)
3) 事前参加振込	2017 年 3 月 1 日～4 月 28 日 (金)
4) 当日参加申込	当日会場で受け付けます。

参加費 参加費は以下の通りです。(会員は不課税、非会員は課税対象。プログラム集を含む。交流会費は課税対象です。)交流会のみの参加は受付けません。また、フリーキサー・自由集会への参加も討論会参加者(参加費納入者)に限らせて頂きますので、参加登録をお願い致します。

分類 費用	一般		学生	
	会員	非会員	会員	非会員
事前登録参加費	8,000 円	13,000 円	0 円※2	5,000 円
当日参加費 ※1	10,000 円	15,000 円	0 円※2	5,000 円
交流会費(事前)	8,600 円	9,000 円	3,200 円	3,200 円
交流会費(当日)※1	9,500 円	10,000 円	4,500 円	4,500 円

※1) 4月21日以降(当日を含む)受付の金額

本大会では2日目夜に交流会を実施いたします。交流会のみの参加は受付けておりません。

※2) 昨年と同様に学生会員の参加費は無料とします。

事前支払の方法 : ① 3月号「環境化学」挟み込みの郵便払込票をご利用ください。

② 郵便局備え付けの青い払込票に下記サンプルの必要事項をご記入の上お振り込みください。

振込先) 口座記号番号: 00800-0-136764

口座名称: 第26回環境化学討論会

口座名称カナ: ダイニジュウロツカイカンキョウカガクトウロンカイ

振込期限) 平成29年4月28日(金)

【払込取扱票(郵便払込票)の記入例】

払込取扱票					振替払込請求書兼受領証				
00 口座記号・番号はお間違えのないよう記入してください。					00800-0				
口座記号					口座番号(右詰で記入)				
00800-0					136764				
金額					千 百 十 万 千 百 十 円				
37800					37800				
加入者名					第26回環境化学討論会				
通 信 欄					参加者氏名				
ご依頼人					参加申込番号				
100-0000					参加費				
東京都〇〇区〇〇丁目〇-〇					懇親会費				
〇〇環境株式会社					合計金額				
010-000-0000					環境 太郎				
*事前参加費振込期日 4月28日(金)					A00007				
日 附 印					8,000				
					8,600				
					16,600				
					環化 花子				
					A00008				
					5,000				
					3,200				
					8,200				
					東京 次郎				
					A00009				
					13,000				
					13,000				
					総合計 ¥				
					37,800				
					金額				
					千 百 十 万 千 百 十 円				
					¥37800				
					おなまえ				
					第26回環境化学討論会				
					ご依頼人				
					〇〇環境株式会社				
					消費税込				
					日 附 印				
					料 全				
					円				
					備 考				

この受領証は、大切に保管してください。

学生参加者について： 昨年と同様に、今年も学生会員の参加費を無料とし、非会員学生の参加費を当学生会員の年会費と同額の5,000円にいたしました。学生のみなさまには是非、日本環境化学会へご入会のうえ学会員として参加いただきたいと思いますと考えております。また、今年の優秀発表賞（学生賞）の応募には会員資格が必要ですのでご注意ください。参加申込みの前に当会HPから (<http://www.j-ec.or.jp/info/nyukai.html>) 学生会員として入会のお申し込みをいただければ、討論会へは「学生会員」として参加申込みいただけます。会員番号欄には手続き中であることを示す「2929」をご入力ください。後日、日本環境化学会事務局より会員番号の通知と学生会員会費の郵便払込票をお送り致しますので、届きましたら1週間以内に年会費をご入金ください。年度前にお申し込みいただいた場合でも、平成29年度会費としてお受け致します。

学生会員について：

資格：学生会員は本会の目的に賛同した学生で、所定の手続きを経て、別に定める会費を納入したものとします。

※原則として社会人の学生は個人会員としてご入会いただくこととなります。

会費：年額 5,000円（会誌費を含む、会計年度は4月～翌3月）

特典：・機関誌「環境化学」（6, 9, 12, 3月発行）のお届け

・機関誌「環境化学」への論文投稿

・討論会への会員価格での参加

申込：当会ホームページの「学会について」>「各種お手続き」からお申し込みください。

第26回環境化学討論会実行委員会

実行委員長：坂田昌弘

実行副委員長：雨谷敬史、高菅卓三、中野 武

顧問：鈴木 茂、松村 徹

幹事長：清家伸康、三宅祐一

実行委員：秋葉善弥、荒井豊明、磯部友彦、今泉圭隆、岩元寛司、榎本剛司、大浦 健、大塚宜寿、奥田昌弘、小栗朋子、小郷沙矢香、金丸 新、神田広興、菊池貴也、木村直樹、国見祐治、久米一成、鈴木 剛、高木陽子、高橋 厚、多菊太郎、竹峰秀祐、田部井昭子、遠井享二、徳村雅弘、戸田美沙、西島 功、西島宏和、野見山桂、原 清敬、原田修一、馬場啓之、早川健一、藤峰慶徳、堀井勇一、牧 重明、牧野正和、真塩麻彩実、水川薫子、水川葉月、ミランダ和美、山田建太

（敬称略・五十音順、2016年11月時点）

<交通アクセス>

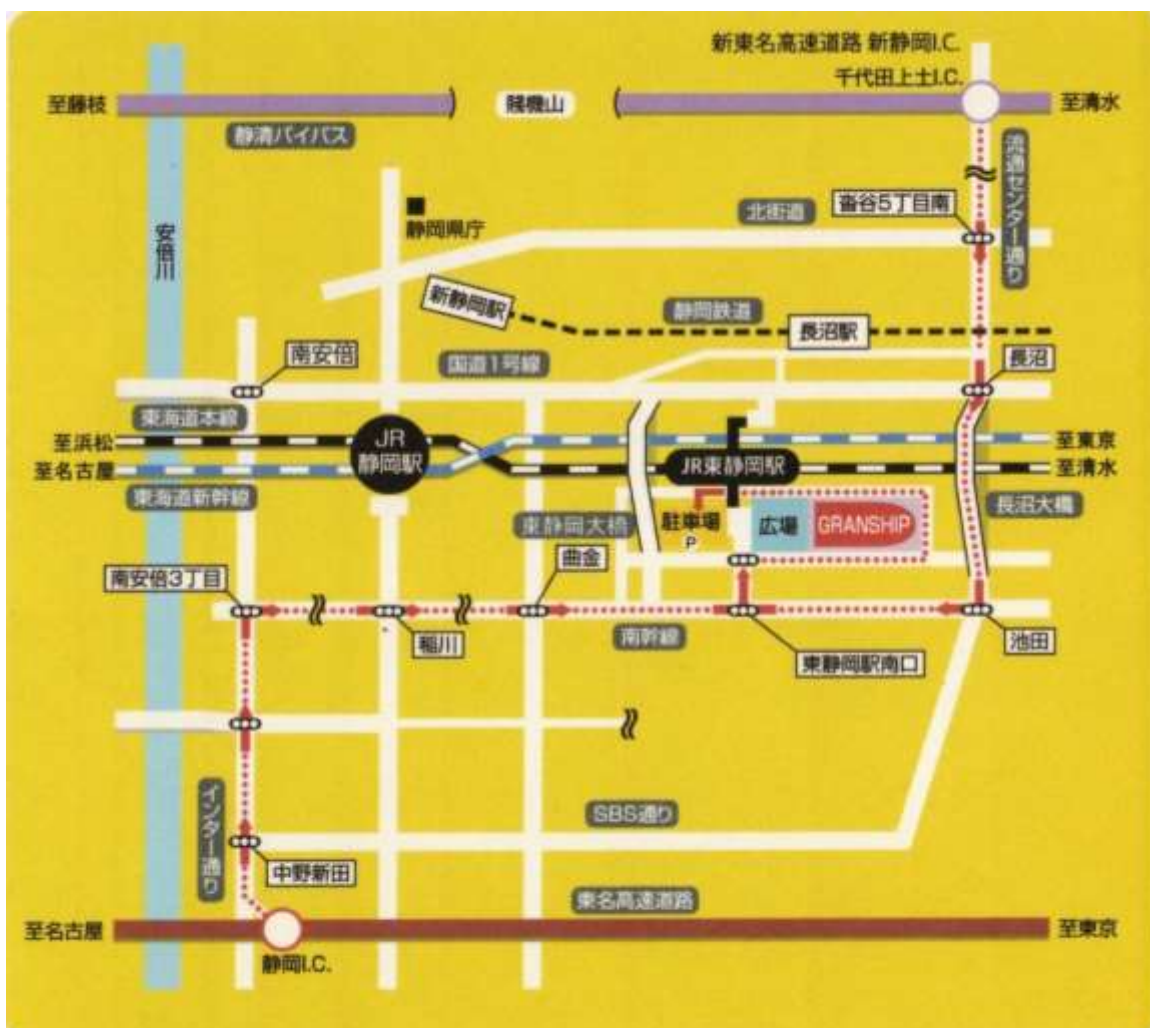
静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」

〒422-8005 静岡市駿河区池田 79-4 TEL. 054-203-5710(代表)

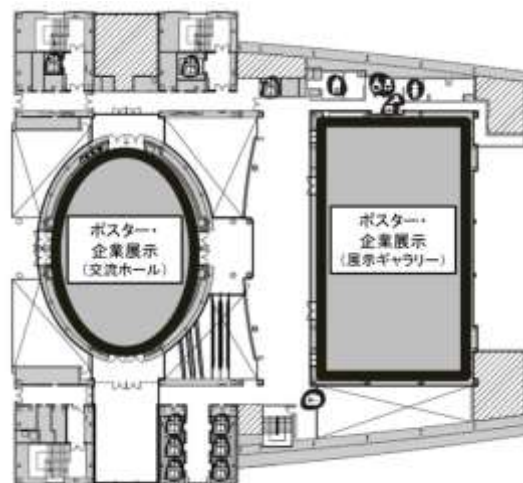
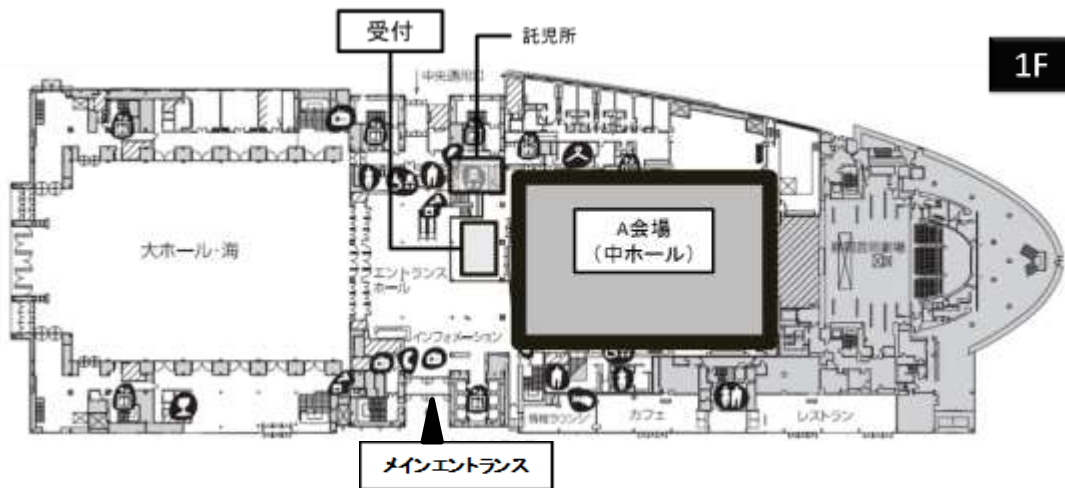
アクセス情報 <http://www.granship.or.jp/>

JR 静岡駅から JR 東海道線で東静岡駅下車 徒歩で約 3 分

静岡鉄道新静岡駅から 長沼駅下車 徒歩で約 10 分



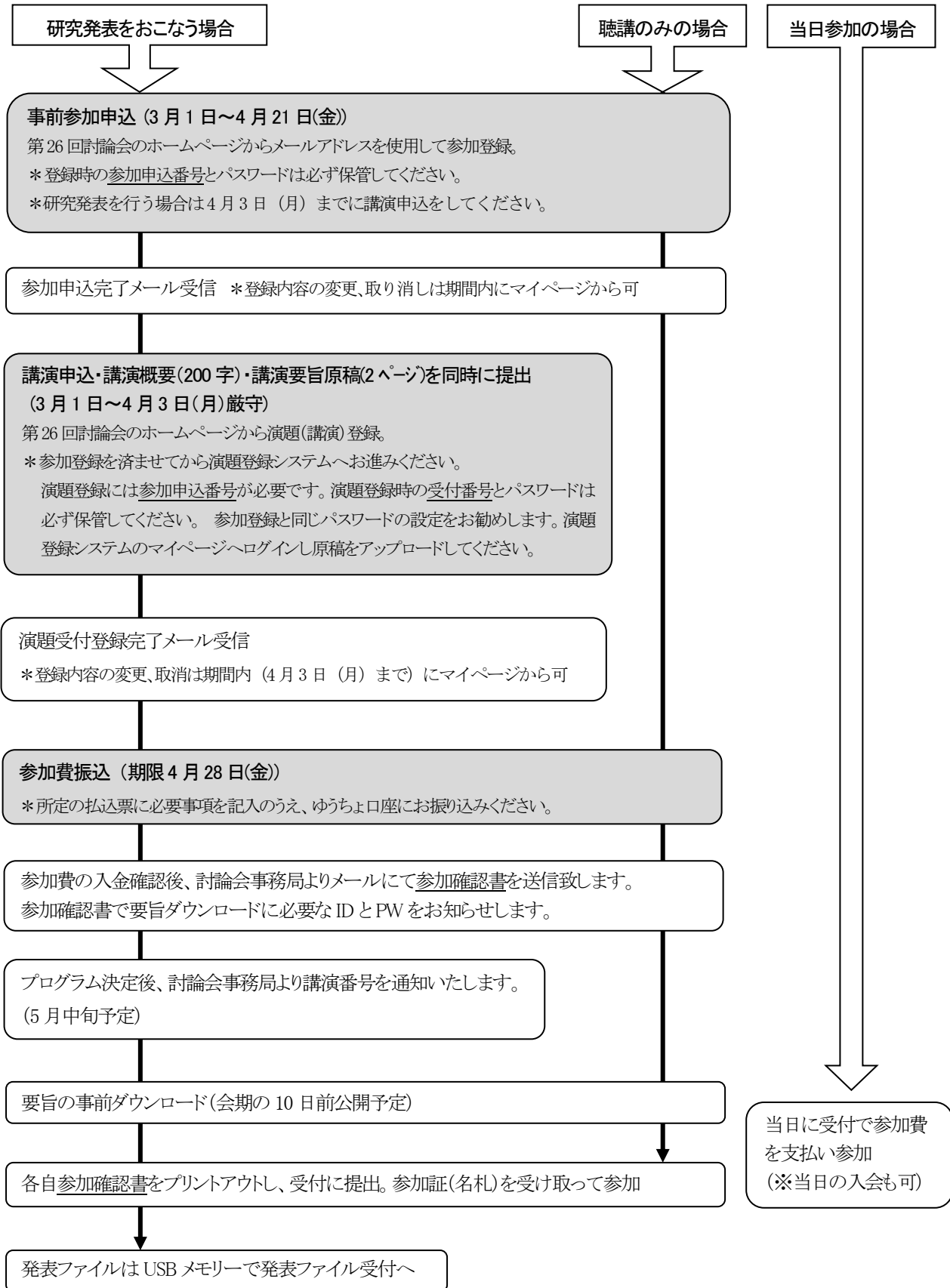
<会場案内図>



【 第 26 回環境化学討論会の参加申込・講演申込手順 】

今年、講演要旨原稿提出を演題登録(概要登録)と同時に行います。例年より登録期間も短いのでご注意ください。

参加登録、演題登録システムの詳細は、3月1日から始動する各システムガイドをご覧ください。



<企画行事の概要>

プログラムの時間と会場は変更になる場合があります。

最新情報は第26回環境化学討論会ホームページにてご確認ください。

- ◆社員総会 日 時：2017年6月8日(木) 9:20～9:45
会 場：A会場 (1F 中ホール大地)

- ◆特別講演Ⅰ 「環境中の発がん要因とがん予防要因」 若林 啓二 先生 (静岡県立大学 特任教授)
日 時：2017年6月7日 (水) 15:30～16:15
会 場：A会場 (1F 中ホール大地)

- ◆特別講演Ⅱ 「環境考古学から環境文明論へ」
安田 喜憲 先生 (ふじのくに地球環境史ミュージアム 館長)
山田 和芳 先生 (ふじのくに地球環境史ミュージアム 准教授)
日 時：2017年6月8日 (木) 15:30～16:30
会 場：A会場 (1F 中ホール大地)

- ◆受賞式・受賞講演
日 時：2017年6月8日 (木) 16:35～18:00
会 場：A会場 (1F 中ホール大地)

- ◆口頭発表 (一般講演)
日 時：2017年6月7日 (水) ～6月9日 (金)
会 場：口頭発表会場 (A～E)

- ◆ポスター発表 (コアタイム)
日 時：奇数番号 6月7日 (水) 14:00～15:00
偶数番号 6月8日 (木) 14:00～15:00 (高校環境化学賞を含む)
会 場：ポスター会場 (6F 展示ギャラリー)

- ◆国際セッション
日 時：2017年6月7日 (水) ～6月8日 (木)
会 場：E会場 (9F 904)
海外招へい研究者、国内留学生、英語での発表者を含めて、英語による口頭発表を行います。日本人研究者も是非ご参加ください。発表時間や発表場所はそれぞれ異なりますので、プログラムにてご確認ください。海外からの参加者には審査により渡航費の支援が準備されていますので、詳細は第26回環境化学討論会ホームページの International Session から Call for Application をご確認ください。

- ◆International Session (English)
The International Session calls papers. We welcome papers of original researches on analytical and monitoring methods of contaminants, distributions and behaviors of the contaminants in atmospheric, aquatic, soil environments, accumulation and toxicity of the chemicals in biota, treatments of the contaminants and so on. The target contaminants cover inorganic and organic including heavy metals, persistent organic pollutants, endocrine disrupting chemicals, hydrocarbons, PPCPs and so on. All participants are expected to make oral presentation in English (15 or 20 minutes including questions and answers, we will let you know the presentation time soon) Please visit our website (http://www.j-ec.or.jp/index_e.html)

◆**優秀発表賞** 今年は例年の学生賞に代わり「優秀発表賞」を企画しております。日本環境化学会会員であり、口頭またはポスターで研究成果を発表した若手研究者(4月1日現在で満35歳以下)および学生の中から、優秀な発表を行った者に「優秀発表賞」を授与します。英国王立化学会(Royal Society of Chemistry)の協力による賞も併せて実施します。応募資格、応募方法、審査方法につきましては、<第26回環境化学討論会優秀発表賞について>をご覧ください。みなさまの応募をおまちしております。

◆**フリーミキサー・自由集会**

日 時 : 6月7日(水) 18:45~20:45

自由集会の企画はまだ募集しております。ご提案いただける方は実行委員会(Email: env26@u-shizuoka-ken.ac.jp)に4月14日までにご連絡ください。フリーミキサー・自由集会への参加は、討論会参加者に限らせて頂きますので参加登録をお願い致します。詳細は<自由集会のご案内>をご覧ください。

◆**ランチョンセミナー**

日 時 : 6月7日(水) 12:30~13:30(1日目) / 6月8日(木) 12:30~13:30(2日目)

主催企業が参加者に役立つ情報提供や、新製品等を紹介するもので、研究や仕事の深化・多様化に有益な最新情報を得る絶好の機会です。参加者には弁当と飲み物を用意しております。ふるってご参加ください。

◆**交流会**

日 時 : 6月8日(木) 19:00~21:00

会 場 : ホテルセンチュリー静岡「4階クリスタルルーム」〒422-8575 静岡市駿河区南町18-1

アクセス情報 <http://www.centuryshizuoka.co.jp>

JR静岡駅南口から徒歩で1分のホテルです。

◆**展示会**

企業の製品及び技術、書籍、研究機関及び大学等をPRする場として、カタログ及び資料類などの展示会を開催します。今年もスタンプラリーを予定しておりますので奮ってご参加ください。

◆**就活コーナー**

詳細は追って学会ホームページ上でお知らせいたしますので、学生参加者の皆様は奮ってご参加ください。

◆**託児施設**

お子様を連れて参加される方のために、託児所を常設できるように検討しております。利用を希望される方は **4月3日までに**参加登録ページでご登録頂くか、実行委員会(Email: env26@u-shizuoka-ken.ac.jp)までご連絡ください。

<講演要旨作成要領>

*要旨の提出(アップロード) 期限4月3日(金)の厳守

第26回環境化学討論会ホームページから演題(講演)登録システムに入り、講演申込みと要旨原稿(PDF)のアップロードを行います。講演登録の前に必ず参加登録をお済ませください。講演要旨原稿のアップロードや修正、取り下げ等は4月3日(金)まで、演題登録システムのマイページへログインして行えます。4月3日(金)を過ぎると修正やアップロードはできなくなりますのでご注意ください。アップロードする要旨原稿ファイルは原則PDF形式とし、ファイル名は「演者の氏名.pdf」としてください。(例:「環化花子.pdf」)システムによるファイル送付が困難な場合は、事務局までご連絡ください。

◆ 講演要旨作成マニュアル

図表のタイトルや補足説明については、可能な限り英文で作成してください。各自のワープロソフトを用いて、講演要旨(右図:様式1と2を参照)を作成してください。なお、Microsoft Wordを用いて要旨作成を行う場合は、第26回討論会のHPにある「講演要旨作成要領」から様式セット(1+2)テンプレートをダウンロードし作成してください。要旨はワードファイル作成後、PDFファイルに変換したものをアップロードしてください。

(A) 用紙サイズ: 縦 297 mm × 横 210mm (A4)

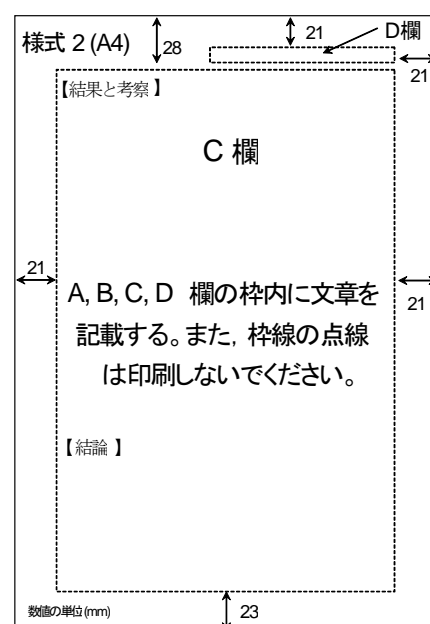
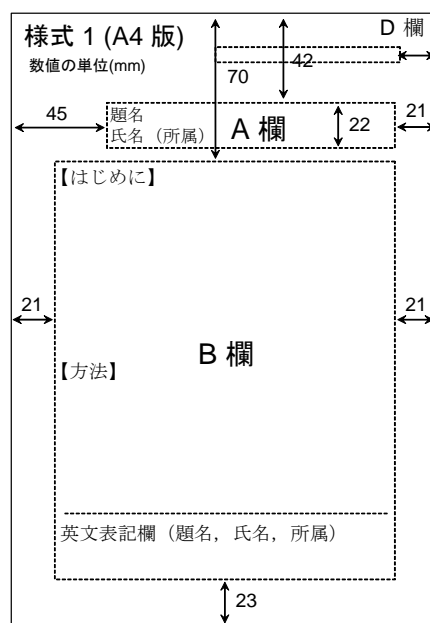
余白: 様式1と2を参考に余白を設定してください。

(B) 使用フォント等: 和文フォントは、MS明朝、MSP明朝、平成明朝等の明朝体のフォントを使用してください。英文フォントは、Times、Times New Roman、Century、Symbol等のフォントを使用してください。図表を除く本文中の和文および英文にはゴシック体のフォントの使用は出来るだけ避けてください。また、フォントサイズは10.5~12ポイント、行送りは14~16ポイント等の標準書式をお願いします。

(C) 記入事項: 様式1のA欄には、題名、氏名、所属を記載してください(B欄の下部には英文で表記)。様式1のB欄と様式2のC欄には、目的、方法、結果、考察等を記載してください。また、様式1および様式2の右上のD欄には、口頭発表の方は、[第26回環境化学討論会、登壇者氏名、口頭発表(静岡;2017年)]の様に1行以内(フォントサイズを調整)で記載してください。ポスター発表の方は、上記の[]内の「口頭」を「ポスター」に変えて同様に記載してください。

英文で作成する方は、D欄内に[26th Symposium on Environmental Chemistry, Speaker's name, Oral presentation (Shizuoka; 2017)]の様に記載してください。登壇者氏名やSpeaker's nameとは、実際に講演要旨の内容を発表・説明する者を指します。

(D) その他の注意: 文字・画像の網掛け等はつぶれる恐れがありますので注意してください。



<プログラム集用の講演概要作成要領>

*講演概要 (200 字以内) の提出と修正

当日配布するプログラム集 (A4 サイズ) には、演題と講演者名および講演概要 (200 字以内) を掲載します。今回は、講演要旨原稿と講演概要 (200 字以内) の登録締め切りが同日ですので、ご注意ください。講演申込み・要旨原稿提出の際に演題登録システム上に入力いただく講演概要 (200 字以内) は、プログラム作成の参考とさせていただくとともに、プログラム集へ掲載する講演概要でもあります。4月3日(金) 時点で登録されている講演概要 (200 字以内) をプログラム集掲載用として使用いたしますので、プログラム集用に修正が必要な場合は、演題登録システムのマイページよりログインし期限までに修正をお願いいたします。4月3日(金)以降の修正はお受けできませんのでご了承ください。

<発表方式>

口頭およびポスター発表とします。

◆ 口頭発表マニュアル (一般講演)

(A) 発表時間： 一般講演 11 分、質疑応答+発表者の交代 4 分を含め計 15 分 (予定) です。発表時間を超過した場合には、途中で打ち切ることがありますので、ご注意ください。

(B) 発表手順：

1) 発表ファイルの作成方法：

(a) ファイル形式等：発表用の講演ファイルは以下の当日使用する PC に適応するソフトで作成してください。

学会当日の発表用パソコン： Microsoft Windows® 10、PowerPoint® 2016

ファイルの容量は 10 MB 以下 としてください。必ず発表スライドの動作確認を行ってください。動画の動作については保証しかねますのでご了承ください。

(b) ファイル名：「講演番号 (半角) 演者の氏名.ppt もしくは pptx」としてください。(例：「1A-1_環化花子.ppt」)

(c) メディア：USB メモリー (特殊なドライバーを必要としない物) を使用してください。

(d) ウイルス対策：講演ファイルとメディア両方のウイルスチェックを行い、不要ファイルを入れないようお願いいたします。

2) 講演ファイルの受付：

(a) 発表者は、講演ファイルを、USB メモリーにより、発表会場の講演ファイル受付までご持参ください。

(b) 講演ファイルは、午前中発表の場合は当日最初のセッション開始前まで (または直前のセッション時間中)、午後発表の場合は昼休み時間までに、時間の余裕をもって各会場の発表用 PC にコピーして下さい。初日 (6月7日) は講演ファイル受付が混雑しますので、初日の発表者は早めの受付をお願いします。なお、開催期間中は夜間、講演ファイルを受付けます。

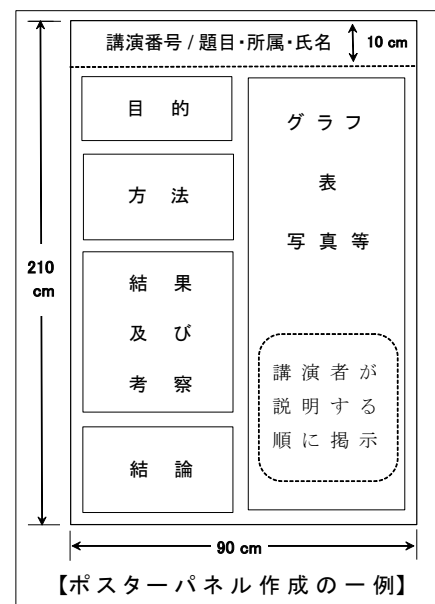
3) 発表方法：

(a) 各講演会場の演台に講演ファイルを読み込んだノートパソコン (OS は Microsoft Windows® 10、使用ソフトは PowerPoint® 2016) と液晶プロジェクターを設置しますので、講演者自らがノートパソコンを操作し、講演してください。緊急な場合を除き、個人のパソコン持ち込みは、プログラム進行の支障になるためお受けできません。

(b) 講演ファイルは、大会終了後に、実行委員会が責任を持って消去します。

◆ ポスター発表マニュアル

- (A) ポスターパネルの作成要領： 講演 1 題当たりのポスターパネルの貼付スペースは、(縦 210 cm × 横 90 cm 以内) (右図参照) とします。ただし、パネルの最上部 縦 10 cm の部分には必ず、講演番号、題目、所属、氏名を印刷あるいは記入した用紙を貼ってください。パネルへのポスターの貼付は会場に用意してあるピンを使用し、撤収時に返却してください。
- (B) 当日の受付： 発表者は、持参したポスターを貼り付ける前に、ポスター会場に設置する「ポスター受付」で受付を済ませ、担当者の指示に従ってください。
- (C) 発表手順： コアタイムには、ご自身のポスターの前に立ち、閲覧者からの質疑に対応するよう努めてください。
- 1) 会 場： ポスター会場
 - 2) 貼 付： 6月7日(水) 9:00 ~ 6月9日(金)12:00 (3日間)
 - 3) コアタイム： 奇数番号 6月7日(水) 14:00~15:00
偶数番号 6月8日(木) 14:00~15:00
 - 4) 撤 収： 6月9日(金)12:00 までに必ず発表者の責任で撤収してください。



＜討論会における研究発表の特許手続き上の証明について＞

本会は特許法第30条第1項の規定による「特許庁長官が指定する学術団体」に指定されておりますので、本討論会において文書をもって発表し、

(1) Web上で公開した日より6ヶ月以内に(討論会講演要旨集をWeb上で公開した日より起算)、その発明者が実用新案または特許について)『「特許法第30条第1項の適用」を受けようとする旨を記載した書面』を特許出願と同時に特許庁長官に提出し、

(2) さらに、その発明、考案が『本学会開催の討論会で発表されたものであることを証明する「本学会発行の証明書」を出願の日より30日以内に特許庁長官に提出するとき』は、その発明、考案は新規性を失わないと認められることとなっています。

この際、討論会講演要旨集に記載されていることがらに関しては、刊行物と見なされるので当然保護されます。したがって、討論会講演要旨集に記載のない事柄についての発表を保護の対象としたいときのみ、別に文書を本学会に提出することになります。それには、

(イ) 発表者は、発表のもとになる「文書」(全部または必要部分)を作成してあらかじめ座長に提出し、発表後、口頭で発表したことの事実を座長に「確認」してもらいます。(討論会講演要旨集のコピーのみを特許庁に提出される場合は座長の確認は必要ありません。)

(ロ) 座長の確認を受けるには、次の例に示すような「確認書」を発表者が作成して、上述の「文書」と共にあらかじめ座長に提出します。

(ハ) 出願者が本学会発行の証明書の特許庁長官に提出する時には、座長の捺印した「確認書」1通、「文書」2通(正、副)の他、下記の例に示すような「証明書」(学会の控えを含む2通)を作成して、返信用封筒(宛名記入、切手貼付)を同封し、本学会宛にその証明書を請求してください。本学会では、この証明書に、「文書」のうち1通(正)を添付して返送します。

確認書の例
2017年○月○日
一般社団法人日本環境化学学会御中
第26回環境化学討論会 座長○○○○ 印
第26回環境化学討論会において、添付の文書のとおり発表があったことを確認します。
記
講演日時:2017年6月○日 講演場所: 演題番号: 発表者及び演題:

証明書の例
証 明 書
2017年○月○日
特許庁長官 ○○殿
一般社団法人 日本環境化学学会 会長 柴田 康行 印
本学会開催による第26回討論会において○○は添付の文書をもって発表したことを証明します。
記
講演日時:2017年6月○日 講演場所: 演題番号: 発表者及び演題:

(注)発表者が連名の場合は「確認書」「証明書」「文書」とも全員の名前を記入すること。

<自由集会のご案内>

日時：6月7日(水) 18:45~20:45

1. 自由集会のテーマ募集中(〆切4月14日)

講演会場で特定の話題で集まり相談・議論できる場(自由集会)の提供をいたします。若手による企画や新たな化学物質汚染など、今後の環境化学研究を活発にできるような熱い企画をお待ちしています。自由集会の開催をご希望の方は以下の情報を第26回討論会事務局へ、4月14日までにお送りください(env26@u-shizuoka-ken.ac.jp)。

なお、提供できる会場は講演会場ですので、机を移動された場合は現状復帰をお願いします。会場内での飲食は可能ですが、参加者に飲食物を提供する場合にはオーガナイザー側でご用意ください。会場は6室(共同使用も可)ですので、先着順で決定させていただきます。

申込先：第26回討論会事務局(env26@u-shizuoka-ken.ac.jp)

- 必要な情報：1. 自由集会名
2. オーガナイザー(個人またはグループ)
3. 概要(200字程度)
4. 担当者連絡先(e-mailと電話)
5. 会場の共同使用の可否

2. 自由集会への参加者募集(第一弾)

自由集会1「教えてください!あなたの研究座右の書!」

オーガナイザー：水川薫子(農工大、代表)、宇田川理(国環研)、遠藤智司

(大阪市大)、小栗朋子(国環研)、頭士泰之(産総研)、水川葉月(北大)

同じ分野にいても、それぞれがどんな本を読んでいるのかを知る機会はありません。そこで本自由集会では環境化学にまつわる本を紹介し合って共有する会を開催します。自分が影響を受けた本、これは役に立つぞという本、環境化学な内容じゃないけれど研究するなら知っておくといい本などなど、おすすめの本をぜひ教えてください!一般書から専門書までジャンルは問いません。3分程度でおすすめ本を紹介してくださる方を広く事前募集しますので、ご興味のある方は4月末日までに農工大 水川薫子(mzkako@cc.tuat.ac.jp)までご連絡ください。もちろん聴講参加のみの方も大歓迎です。

自由集会2「水質検査の現状の課題と将来のあり方について考える」

オーガナイザー：小林憲弘(国立医薬品食品衛生研究所)

近年の水道法の改正によって、水質検査のあり方は大きく変わってきました。より効率的で簡便かつ高精度な検査法が多く開発され、質量分析による一斉分析法が検査の主流となってきた一方で、「水道水質検査方法の妥当性評価ガイドライン」が通知されたことにより、各検査機関は自らの検査精度を評価した上で検査することが求められています。また、未規制物質も含めた存在実態を把握するため、スクリーニング分析法が水質検査に適用され始めています。ここでは、水質検査に関わる全ての方々(行政機関、検査機関、研究機関、民間企業等)を対象として、水質検査の現状の課題と将来のあり方について意見交換し、水道水の安全性を確保するために何ができるかについて考えたいと思います。

自由集会3「環境化学でオープンサイエンス」～あなたのデータを活用しませんか？～

オーガナイザー：上野大介（佐賀大学、代表）、家田曜世（国立環境研究所）

研究データを一般に公開することで学術研究を進展させる「オープンサイエンス」が国際的な発展をみせており、内閣府は「我が国が今後早急に取り組むべき事項」と位置づけ検討を重ねています。これからの環境化学分野の発展に向けて、どのように「オープンサイエンス」に取り組んでいくべきでしょうか？第一線でご活躍の研究者とデータの公開を望む一般の方をお招きして、今後の具体的な取り組みについて議論できればと考えています。

自由集会4「国際的な環境情報の共有」

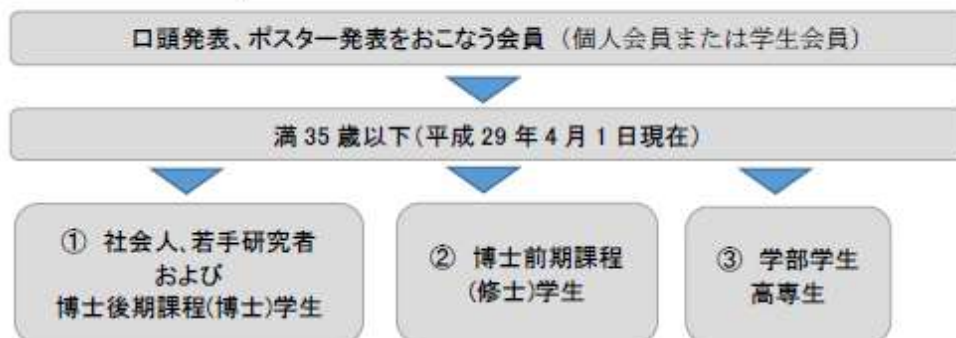
オーガナイザー：中野 武（大阪大学環境安全研究管理センター）

海外の研究者から、世界各地の環境の状況を報告していただきます。学生、若手研究者、留学生の皆さん、英語で自分の研究を紹介してみませんか？いきなり国際会議では、ハードルが高いと思われるあなたも参加してみませんか？発表時間は3分以内、パワーポイント、スライド3枚で皆さんの研究のエッセンスを紹介してください。6月6日までに、中野宛（ntakeshi@jrl.eng.osaka-u.ac.jp）にスライド3枚を送付ください。この自由集会を手伝ってみようという方も歓迎です。その旨お知らせください。

<第 26 回環境化学討論会「優秀発表賞」について>

(これまでの討論会での「学生賞」とは応募資格や選考方法が異なります。)

応募資格



- 応募者全員にポスター発表を行っていただきます。(発表区分を「口頭発表」として申し込まれた場合でも、優秀発表賞に応募される場合には、別途ポスターの作成と発表が必要)
- 講演要旨による事前審査はありません。
- 受賞者には賞状および副賞が授与されます。また学生会員が受賞された場合、交流会に招待されます。(交流会費支払済みの学生会員には返金します)
- 英国王立化学会 (Royal Society of Chemistry) の協力による賞も併せて実施します。

選考の流れ

- 発表申込み・講演要旨提出時に「優秀発表賞」の応募申込み (4月3日締切り)
↓
- 応募者は全員ポスターを準備 (一次審査はありません)
↓
- ポスター発表による審査 (6月7日 13:45~15:15 : 学会1日目 奇数番号
6月8日 13:45~15:15 : 学会2日目 偶数番号)
↓
- 審査結果の発表 (6月8日 18:00頃 : 学会2日目)
↓
- 受賞者の表彰 (6月8日 19:00~ : 学会2日目交流会会場)

選考方法

審査は環境化学分野を専門に活動している著名な学会員に依頼する予定です。優秀発表賞の選考基準は以下の通りです。

1. 研究背景・目的・実験方法を適切に記述しているか。
2. 十分な結果を得ているか。
3. 考察および結論は適切か。
4. 図表を含めポスターとしての全体的な完成度は高いか。
5. 適切な発表態度であるか。
6. 質疑応答は適切か。

注) この賞は、一般社団法人日本環境化学会の表彰規定にある「環境化学会賞」とは異なり、環境化学討論会の実行委員会で開催する「優秀発表賞」です。

<プログラムの概要>

(諸事情により変更が生じる場合があります。最新情報はホームページでご確認ください。)

2017年6月7日(水) 1日目								
	口頭発表会場					ポスター会場 6F 展示ギャラリー	企業展示会場 6F 展示ギャラリー	
	A会場 1F 中ホール 1000人	B会場 10F 1001-2 180人	C会場 10F 1001-1 120人	D会場 9F 910 138人	E会場 9F 904 72人			
9:00	受付(9:10~) 1F中ホール前							
10:00 ~ 11:00	1A-1st	1B-1st	1C-1st	1D-1st	1E-1st	ポスター 掲示 閲覧	企業展示	
	4題	4題	4題	4題	3題 国際セッション			
移動・休憩								
11:15 ~ 12:15	1A-2nd	1B-2nd	1C1-2nd	1D-2nd	1E-2nd			
	4題	4題	4題	4題	3題 国際セッション			
移動・休憩								
12:30 ~ 13:30	ランチョンセミナー・昼食							
移動・休憩								
13:45 ~ 15:15	ポスターセッション(奇数No.) および 優秀発表賞(旧学生賞) エントリー審査 コアタイム 14:00-15:00 (6F 展示ギャラリー)							
移動・休憩								
15:30 ~ 16:15	特別講演I (A会場 1F 中ホール)							
	「環境中の発がん要因とがん予防要因」 若林 啓二 先生(静岡県立大学 特任教授)							
移動・休憩								
16:30 ~ 17:30	1A-3rd	1B-3rd	1C-3rd	1D-3rd	1E-3rd	ポスター 掲示 閲覧		
	4題	4題	4題	4題	3題 国際セッション			
17:30 ~ 18:30	1A-4th	1B-4th	1C1-4th	1D-4th	1E-4th			
	4題	4題	4題	4題	3題 国際セッション			
移動・休憩								
18:45 ~ 20:45	フリーミキサー 自由集会							

2017年6月8日(木) 2日目								
	口頭発表会場					ポスター会場 6F 展示ギャラリー	企業展示会場 6F 展示ギャラリー	
	A会場 1F 中ホール 1000人	B会場 10F 1001-2 180人	C会場 10F 1001-1 120人	D会場 9F 910 138人	E会場 9F 904 72人			
9:00	受付(9:10~) 1F中ホール前							
9:20 ~ 9:45	総会(A会場)						ポスター 掲示 閲覧	企業展示
移動・休憩								
10:00 ~ 11:00	2A-1st	2B-1st	2C-1st	2D-1st	2E-1st			
	4題	4題	4題	4題	3題 国際セッション			
移動・休憩								
11:15 ~ 12:15	2A-2nd	2B-2nd	2C-2nd	2D-2nd	2E-2nd			
	4題	4題	4題	4題	3題 国際セッション			
移動・休憩								

12:30 ～ 13:30	ランチョンセミナー・昼食 理事会（新理事監事のみ）		企業展示
	移動・休憩		
13:45 ～ 15:15	ポスターセッション（偶数No.） および 優秀発表賞（旧学生賞）エントリー審査 コアタイム 14:00-15:00 （6F 展示ギャラリー）		
	移動・休憩		
15:30 ～ 16:30	特別講演II（A会場 1F 中ホール） 「環境考古学から環境文明論へ」 安田 喜憲 先生（ふじのくに地球環境史ミュージアム 館長） 山田 和芳 先生（ふじのくに地球環境史ミュージアム 准教授）	ポスター掲示 閲覧	
	移動・休憩		
16:35 ～ 18:00	表彰式（A会場）日本環境化学会賞および高校環境化学賞 受賞講演（A会場） 3題		
	移動		
19:00 ～ 21:00	交流会（ホテルセンチュリー静岡）		

2017年6月9日（金） 3日目

	口頭発表会場					ポスター会場 6F 展示ギャラリー	企業展示会場 6F 展示ギャラリー
	A会場 1F 中ホール 1000人	B会場 10F 1001-2 180人	C会場 10F 1001-1 120人	D会場 9F 910 138人	E会場 9F 904 72人		
9:00	受付（9:00～）						
9:30 ～ 10:30	3A-1st 4題	3B-1st 4題	3C-1st 4題	3D-1st 4題	3E-1st 4題	ポスター撤去 12:00まで	企業展示 撤収 12:00まで
	移動・休憩						
10:45 ～ 11:45	3A-2nd 4題	3B-2nd 4題	3C-2nd 4題	3D-2nd 4題	3E-2nd 4題		
	移動・休憩						
12:00 ～ 13:00	ハイライトセッション・閉会式（A会場） 各研究分野のトレンド全体概要、有機・無機分野（分析、レベル、動態など）、 毒性生体影響、国際研究動向など 次年度討論会（沖縄）の紹介						